

# 課題 No.1

締め切り： 2023年11月30日, PM23:59:59

- 答案には、必ず、氏名と学籍番号を書いて下さい（印刷したときに誰の答案かが分かるように）。
- 答案は TA の大学院生・畠山君 (u868710a@ecs.osaka-u.ac.jp) 宛にメールにファイル添付して送ってください。手書きで解答を作り、写真に撮って画像を送っても構いません。ただし、字が読めるような画質にしてください。
- 厳格にするつもりはありませんが、ファイル・サイズは出来るだけ 1MB (1メガ・バイト) 以内にしてください。  
(参考) IrfanView (<https://www.irfanview.com/>) のソフトを使うと、小さいサイズの JPEG ファイルにすることができます。
- Subject に「計量経済」の単語を含めて下さい。でなければ、ごみ箱に行く可能性があります (Subject でメールを振り分けています)。

1  $(X_1, Y_1), (X_2, Y_2), \dots, (X_n, Y_n)$  の  $n$  組のデータがある。このとき、最小二乗法によって  $X$  と  $Y$  との関係を表す直線  $Y = \alpha + \beta X$  を求めたい。

- (1) 最小二乗法による推定値  $\hat{\alpha}, \hat{\beta}$  を求めなさい。
- (2) 決定係数が 0 以上 1 以下になることを証明しなさい。

2 下記の表のように、 $(X_1, Y_1), (X_2, Y_2), \dots, (X_n, Y_n)$  の  $n = 5$  組のデータがある。

$i$	1	2	3	4	5
$Y_i$	2	1	2	3	4
$X_i$	1	2	3	2	3

このとき、最小二乗法によって  $X$  と  $Y$  との関係を表す直線  $Y = \alpha + \beta X$  を求めたい。

- (3)  $\alpha, \beta$  の最小二乗推定値  $\hat{\alpha}, \hat{\beta}$  をそれぞれ求めなさい。
- (4) 決定係数  $R^2$  を求めなさい。

- (5) 自由度修正済み決定係数  $\bar{R}^2$  を求めなさい。
- (6) 回帰式の標準誤差を求めなさい。
- (7)  $\hat{\beta}$  の標準誤差を求めなさい。
- (8)  $\beta$  の 95% 信頼区間を求めなさい。
- (9) 帰無仮説  $H_0: \beta = 0$  を有意水準 10% で検定しなさい。対立仮説については各自設定してよいが、解答には明記しなさい。

3 次の回帰モデルを考える。

$$Y_i = \alpha + \beta X_i + u_i \quad i = 1, 2, \dots, n$$

ただし,  $u_1, u_2, \dots, u_n$  は互いに独立で,  $u_i \sim N(0, \sigma^2)$  を仮定する。

$\alpha, \beta$  の最小二乗推定量を  $\hat{\alpha}, \hat{\beta}$  とする。

$\beta$  の別の推定量  $\tilde{\beta} = \sum_{i=1}^n (\omega_i + d_i) Y_i$  を考える。ただし,  $\omega_i = \frac{X_i - \bar{X}}{\sum_{j=1}^n (X_j - \bar{X})^2}$ ,  $\bar{X} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i$  とする。

$\sigma^2$  の推定量  $s^2 = \frac{1}{n-2} \sum_{i=1}^n (Y_i - \hat{\alpha} - \hat{\beta} X_i)^2$  を考える。

このとき, 下記の問いに答えなさい。

- (10)  $E(\hat{\alpha}), E(\hat{\beta})$  を求めなさい。
- (11)  $V(\hat{\alpha}), V(\hat{\beta})$  を求めなさい。
- (12)  $\tilde{\beta}$  が線形不偏推定量であるための条件を求めなさい。
- (13)  $\tilde{\beta}$  が線形不偏推定量であるとき,  $V(\tilde{\beta})$  を求めなさい。
- (14)  $\hat{\beta}$  と  $\tilde{\beta}$  のうち, どちらが良い推定量と言えるか説明しなさい。
- (15)  $E(s^2), V(s^2)$  を求めなさい。
- (16)  $s^2$  は  $\sigma^2$  の一致推定量であることを証明しなさい。

(\* 問 (15), (16) については, 必要があれば, 「 $U \sim \chi^2(m)$  のとき,  $E(U) = m, V(U) = 2m$ 」を使ってもよい。